

新明正道先生追悼特別号「新明社会学とその周辺」(1985年8月20日)

- ・「刊行の言葉」(菅野正)

第1部 新明社会学をめぐって

1 新明社会学の形成

- ・「新明社会学の一源流 その現実性と実践性をめぐって」(田野崎昭夫)
- ・「新明社会学と政治」(鈴木幸壽)
- ・「新明社会学とマルクス、エンゲルス」(細谷)

2 新明社会学の性格()

- ・「新明社会学の存在論的理解 総合社会学への一つの道」(松野達雄)
- ・「新明社会学への道」(堀井岸雄)
- ・「新明社会学の基本的性格」(八木正)
- ・「新明社会学における行為概念の基本的性格 新明社会学の理論的諸前提をめぐって」(山崎達彦)
- ・「社会学と人間主体性」(船津衛)
- ・「行為関連の立場と現代社会学」(佐藤勉)

3 新明社会学の性格()

- ・「新明社会学における歴史社会学の意義」(菅野正)
- ・「新明正道博士の歴史性の概念と行為理論」(松本和良)
- ・「歴史とマルクスとパーソンズ 新明社会学との関わりの中で」(樋口晟子)
- ・「社会学思想史について 指摘回顧と反省とをまじえつつ」(森博)
- ・「新明社会学における知識社会学の意味 『知識社会学の諸相』によせて」(安田尚)

4 新明社会学の展開

- ・「応用社会学の役割 新明社会学における実践社会学の位置」(斎藤吉雄)
- ・「新明社会学における教育」(佐々木徹郎)
- ・「新明正道先生の都市社会学 私的回顧をまじえて」(高橋勇悦)

- ・「日本の経営における集団主義 新明社会学の一展開」(牟田口道夫)
- ・「行為関連としてのソーシャル・ケースワーク 新明社会学の所説が意味するもの」(石澤志郎)
- ・「行為関連という名の社会学実践序説」(関茂友)
- ・「ワイマール終期のドイツ社会学」(山本鎮雄)
- ・「経済闘争と政治闘争との区別と関連について」(北村寧)
- ・「総合への意志」(対馬貞夫・田原音和・鈴木広)

第2部 新明先生の思い出

第3部 東北大学社会学研究室史

- ・「社会学研究室小史」(森博)
- ・「『社会学研究』成立史 続 創刊思いつくまま」(内田隆治)

弔辞

- ・「葬送の辞」(斎藤吉雄)
- ・「弔辞」(有沢廣巳 / 青井和夫 / 斎藤正二 / 中村泰次 / N・ルーマン)

新明正道先生略歴および著作目録